

令和元年度 千葉県立市川昂高等学校の取組について

本校は「生命・感謝・審美」を教育理念としている。

「生命」とは、命あるものを尊重し、思いやりのある豊かな心と健やかな体を育成し、安全で健康な生活を主体的に創造する資質を養うことである。

「感謝」とは、自己の人生を支えてくれる全てのことに感謝する心と、自然や社会と共生する態度を養うことである。

「審美」とは、審美眼を養い、広い世界を生きる、次代を担う資質を育てることである。

本校ではE S Dの活動を通じて、この教育理念の実現、特に命あるものを尊重し、自然や社会と共生しながら、次代の世界を担う資質」の育成することを目標としている。

具体的には、国際理解とキャリア教育を柱にそれぞれ、次のような活動を行った。

① 国際理解教育

日本語学校に在籍する各国の留学生との交流行事を定期的実施し、生徒のグローバルな視野を広げるための学習を行った。今年度の実施行事は、中国語及び韓国語の選択授業における語学交流、ポーランド人留学生との文化交流、文化祭における異文化交流ディスカッション、1学年全体と留学生40人による文化交流である。これらは毎年継続的に実施しているものであるが、今年度は特にカナダ・セントジョーンズスクールの音楽部生徒の訪日に合わせて、本校吹奏楽部の交流演奏会及び1学年生徒との異文化交流会を行った。

② キャリア教育

通常の進路指導とも関連づけながら、自らの将来を長期的、多角的に展望することによって、今後の生活を築いていく上での持続可能な生産や消費の在り方などを学習した。

今年度の実施行事は、各学年で行う進路ガイダンスを中心に、金融機関から講師を招いての金融教育等を行った。

③ 地域交流

ユネスコ委員生徒による、近隣小学校における学習補助ボランティア、近隣自治会の秋祭り参加（今年度は台風接近により中止）を柱に、書道部による、近隣小学校での書初め支援ボランティア、吹奏楽部による近隣幼稚園での演奏会実施等を行い、地球を持続させるために欠くことのできない国際平和は、身近な地域の和があつてこそ、という本校E S Dの実践理念の実現に取組んだ。